

【施策番号 Ⅲ-3-18】

分野	戦略	九州新幹線全線開業効果の最大化による県全体の発展
品格あるくまもと	重点的に取り組む施策	熊本駅周辺の整備

1 施策の概要 (PLAN)

(1)背景	(4)取組みの概要
●平成23年3月九州新幹線全線開業に向け、連続立体交差事業及び熊本駅周辺の街路整備など、関係各事業を推進している。	<p>【①熊本駅周辺の基盤整備】 工事工程に支障のないよう関係機関と調整を図りながら、関連事業を推進する。 ・鉄道を連続して高架化する連続立体交差事業。 ・駅周辺のアクセス道路の整備。</p> <p>【②熊本駅及び駅周辺機能の充実】 関係機関と連携しながら、熊本駅及び駅周辺機能を充実させるための取組みを推進する。 ・在来線駅舎の整備に向けた調整及び駅前広場のデザイン調整 ・鉄道高架下への生鮮品市場設置に向けた検討 ・新熊本合同庁舎整備への働きかけ ・駅周辺の散策路整備の調整</p>
(2)めざす姿	
●平成23年3月九州新幹線全線開業に向けた街路整備等の完成	
●本県の玄関口としてふさわしい熊本駅周辺整備を平成30年度までに完了	
(3)解決すべき課題	
●新幹線全線開業に向けた、熊本駅周辺の基盤整備の着実な推進	
●在来線駅舎の整備	
●熊本駅周辺の本県の玄関口としてふさわしい機能（交通結節機能、賑わいの場等）の整備	

2 施策の主な構成事業 (DO)

取組みの概要	担当課	平成21年度事業/決算 (千円)	平成22年度事業/当初予算 (千円)
熊本駅周辺の基盤整備	都市計画課	連続立体交差事業	1,239,523
		熊本駅東口駅前広場整備事業	1,823,500
		熊本駅周辺街路整備事業	5,104,450
熊本駅及び駅周辺機能の充実	地域振興課	熊本駅周辺都市機能誘導等推進事業	3,608
		熊本駅周辺都市機能誘導等推進事業	6,985

3 施策の評価 (CHECK)

(1)指標の推移						
指標 (単位)	策定時	H21	H22	H23	目標値	目標値の説明
1 新幹線駅 (熊本駅の乗降客数) (万人/年) ※平成22年度に設定した指標	762 (H19) 〈達成度〉	769 (H20) 86.9%	730 (H21) 82.5%		885	他県での新幹線開業による乗降客数の伸びをもとに設定
(2)指標の分析						
●熊本駅の乗降客数については、昨秋からの経済不況や高速道路の割引制度の導入、通学定期の落ち込み等の影響により減少したと考えられる。						
(3)平成21年度の取組みの主な成果						
<p>【①熊本駅周辺の基盤整備】 ・新幹線高架下に在来線を移設する2次仮線工事や新幹線と在来線との相互乗換・連絡を図る地下連絡通路工事を推進した。 ・熊本駅城山線や熊本駅帯山線の道路拡幅工事、市電を車道の中央部から西側の歩道側に寄せて走行させる市電のサイドリザーブション化の推進など、駅周辺のアクセスの改善を図った。</p> <p>【②熊本駅及び駅周辺機能の充実】 ・「熊本駅周辺整備に関するトップ会議」(県、市、JR九州並びに経済界のトップがメンバー)の第5回会議を3月に開催し、在来線熊本駅舎のデザインの公表やデザインアドバイザーと意見調整を行った東口駅前広場のデザイン案について提案。 ・新熊本合同庁舎A棟が平成22年10月に完成し、関係する国の出先機関が平成23年3月までに入居する予定。 ・駅周辺の散策路整備について、熊本市と連携し、駅西側区画整理地内のルートを決定。</p>						
(4)平成22年度の取組み方針、取組み状況						
<p>【①熊本駅周辺の基盤整備】 ・平成23年3月の九州新幹線全線開業に向け、熊本駅城山線・熊本駅帯山線・新市街水前寺線(交通結節)の供用を図る。 ・九州新幹線全線開業後、高架橋本体工事が本格化するため、在来線の2次仮線工事を推進する。</p> <p>【②熊本駅及び駅周辺機能の充実】 ・鉄道高架下の生鮮品市場の実施に向けた、関係機関との調整。 ・駅周辺から中心市街地への散策路を活用した誘導策を、熊本市と連携して作成。 ・新合同庁舎B棟が計画どおり整備されるように国に働きかけを行う。</p>						
(5)施策を推進する上での課題						
●九州新幹線全線開業に向け、連続立体交差事業や熊本駅周辺地域の基盤整備は厳しい工程であるが、着実な整備を図る。 ●熊本駅周辺の魅力と賑わいづくりのためには、民間を主体とした都市機能の導入が重要であるため、JR九州や経済界等との連携が必要である。						

4 今後の方向性 (ACTION)

次年度に向けた施策展開の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ●新幹線全線開業後に連立事業の高架橋工事が本格化することから、JR九州や熊本市など関係機関との調整を行い、「県都の品格のある陸の玄関口」として相応しい駅周辺の整備を進める。 ●熊本駅周辺の魅力と賑わいづくりのため、鉄道高架下等について、民間を主体とした都市機能の導入を図る。 ●駅周辺と中心市街地との間の移動方法や案内等について、関係機関と意見交換をしながら利便性向上を図り、円滑な連携と回遊性の向上を図る。